

長野市下水道施設整備計画の方針について

これまでに、施設の老朽化対策としての「ストックマネジメント計画」をはじめとする個別計画が策定されてきました。しかし、近年の大規模災害や老朽化に起因する事故の増加は、これらの個別計画の単独運用だけでは対応が困難な複合的なリスクを顕在化させています。また、下水道事業が直面する財政的な制約の中で、最大の効果を得るためには、投資の優先順位を明確にし、事業の重複を避けることも重要です。こうした背景から、現在ある複数の個別計画を統合し、相乗効果を発揮させることを目的として「長野市下水道施設整備計画」を策定します。

